



CCP Express 3.1 初期設定ガイド(WAN/LAN)

※本資料は2015/09現在のハードウェア/ソフトウェアにおけるガイドです

はじめに

- この資料はCCP Express 3.1を利用して、工場出荷状態のC841Mの初期設定を行う資料になります
- この資料は以下の項目から構成されています
 1. CCP Express 3.1紹介
 2. CCP Express 3.1GUIアクセス
 3. WANの設定
 4. LANの設定

※動作上の不具合がある場合は、下記リンクのサポートタブよりお問い合わせ下さい。

<http://cisco.com/jp/go/c800m>

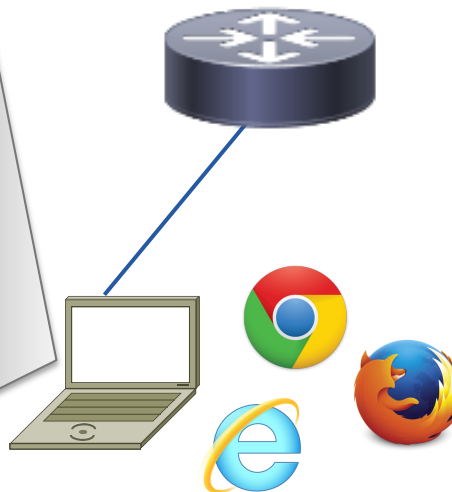
※設定済の10.10.10.1のアドレスを変更すると、CCP Expressから設定変更が不可となります

CCP Express 3.1 紹介

CCP Express 3.1

Cisco Configuration Professional Express

- ・ 日本語GUIによる初期設定や設定変更に対応！
- ・ WANインターフェイス、VLAN、スタティックルートやDHCP設定等



- ・ 対応機器：
ISR 800/1900/2900/3900
シリーズルータ
- ・ 対応IOS version : 15.2(4)M2~ or
15.3(1)T~
- ・ セキュリティフィーチャ : 15.5(1)T
- ・ 対応ブラウザ
Firefox: 10~
Chrome: 17~
IE: 10

CCP Express 3.1

GUIアクセス

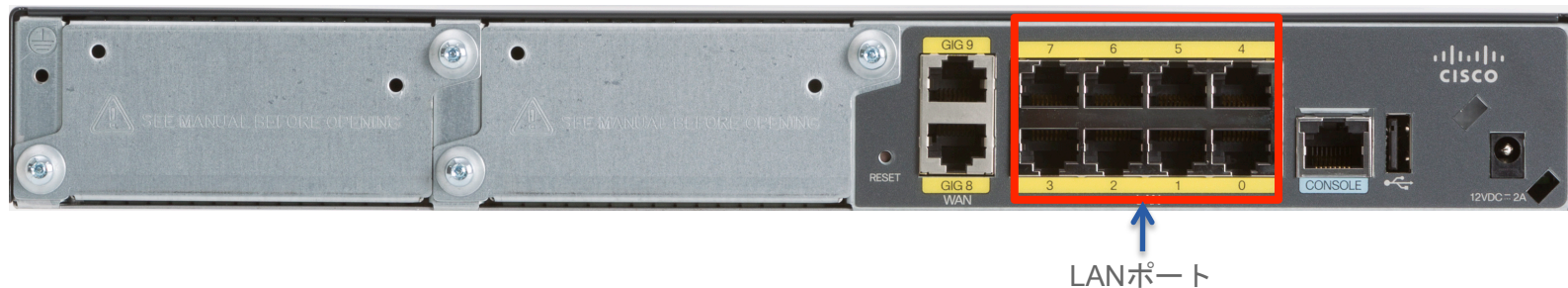
ステップ1: 電源投入

- 付属の電源プラグを電源コネクタに接続します



ステップ2: PCとルータの接続

- PCとルータのLANポートを接続します
※どのポートでも可



ステップ3: CCP Expressへのアクセス

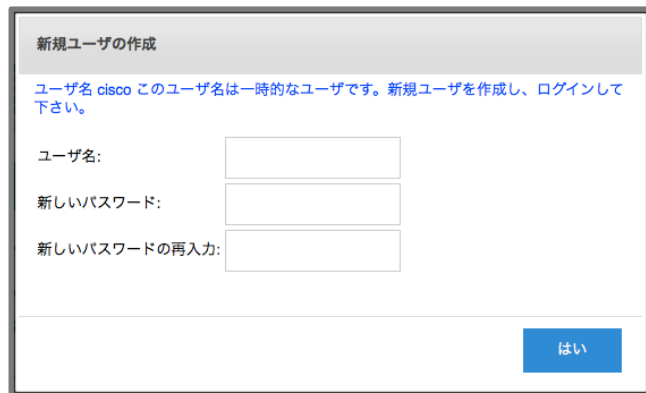
- PCのブラウザを立ち上げ、
"10.10.10.1"へアクセスします

- ユーザ名/パスワードは
"cisco/cisco"を入力します

※cisco/ciscoのユーザは、初回限りのユーザです

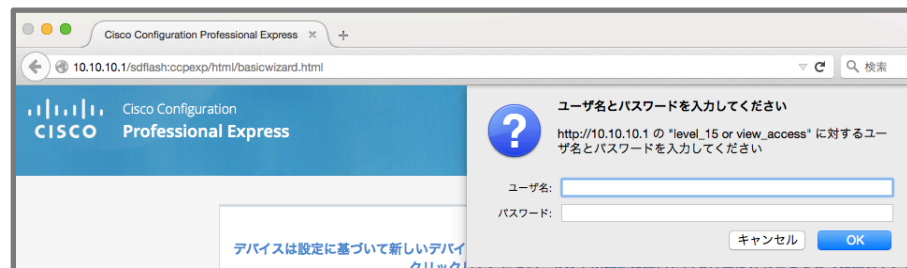
- 新規ユーザの作成画面がポップアップします
新規ユーザ名とパスワードを作成します

※ここで作成しないと、ルータ初期化が必要になります
(初期化方法は別紙、"リカバリ&初期化ガイド"参照)



ステップ4: CCP Expressへのアクセス

- 再度、ユーザ名/パスワードの入力画面が出現します
- 新規作成したものを入力します
- 以上の手順でGUIアクセスが可能となります



CCP Express 3.1画面説明

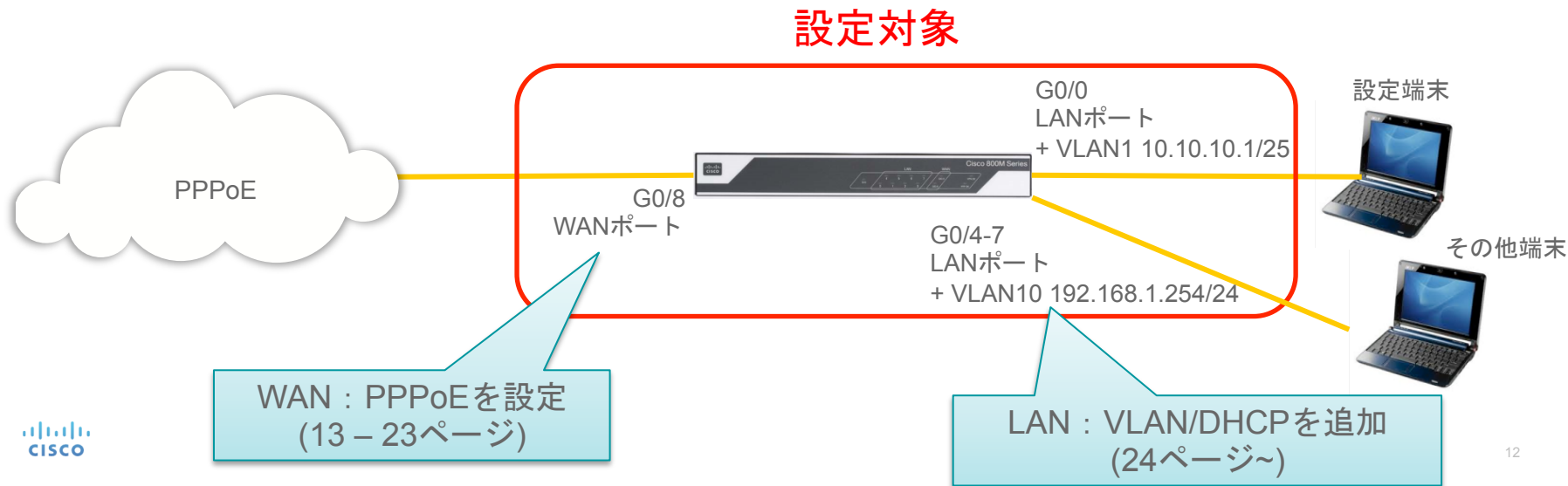
ガイド内の各設定画面は、下図を参考に画面を移動してください



WAN/LAN設定

はじめに

- 以下のサンプル構成にいて、工場出荷状態のC841MをCCP Expressを利用した設定例です



WAN設定

ステップ1: WAN設定

- ・ トップページから、クイックセットアップウィザードを選択します
- ・ クイックセットアップウィザード画面の始めるをクリックします



ステップ2: WAN設定

- ルータ名/ドメインネーム/タイムゾーンを設定し、“次”を選択します

Cisco Configuration Professional Express

クイックセットアップ・ウィザード

基本 プライマリ WAN バックアップ WAN LAN セキュリティ 確認&適用

基本設定

ルータ名*:

ドメインネーム*:

タイムゾーン*:

ヘルプとヒント

- 記号 "*" は必須フィールドを示します。

※

※ドメインネームは必須項目となっています
指定のドメインネームがない場合は、架空のドメインネームを入力します

ステップ3: WAN設定

- WAN接続タイプを”Ethernet(Direct / PPPoE)”を選択します

Cisco Configuration Professional Express

クイックセットアップウィザード

基本 プライマリWAN バックアップWAN LAN セキュリティ 確認&適用

WANの設定

WAN接続タイプ*: Ethernet(Direct / PPPoE)

インターフェイス*: GigabitEthernet8

DNS/IPアドレス

DNS:

☒ ISPから直接DNSサーバー情報を検索する

IPv4:

☒ ISPから自動的に取得する

☒ NATを有効にする

IPv6:

☐ IPv6を有効にする

☒ イーサネット (PPPoE)

ヘルプとヒント

- サービスプロバイダから静的IPアドレスとDNSの情報をもらっている場合、“サービスプロバイダから自動で取得”オプションを選択しないでください。
- *ISPから自動的に取得する*オプションは、サービスプロバイダから動的にIPアドレスを取得するときに使用します。
- PPPoEオプションが有効になっているときは、サービスプロバイダから取得したPAP・CHAPの認証メカニズムを選択し、ユーザー名・パスワードを入力してください。

(オプション)
DHCPを利用する場合は、イーサネット(PPPoE)のチェックを外します

ステップ4: WAN設定

- “詳細設定”を表示し、プロバイダから提供されたPPPoE認証情報やMTUサイズを入力し、“次”を選択します

Cisco Configuration Professional Express

クイックセットアップ・ウィザード

基本 プライマリWAN バックアップWAN LAN セキュリティ 確認&適用

☐ IPv6を有効にする

☒ イーサネット (PPPoE)

接続と認証

タイプ: ☐ PAP ☒ CHAP

ユーザー名*: student1@roadshow.cisco.com

パスワード*:

パスワードの確認*:

MTUサイズ*: 1454

MSSサイズ*: 1356

[\[詳細設定1\]を非表示にする](#)

ヘルプとヒント ?

- サービスプロバイダから静的IPアドレスとDNSの情報をもらっている場合、“サービスプロバイダから自動で取得”オプションを選択しないでください。
- “ISPから自動的に取得する”オプションは、サービスプロバイダから動的にIPアドレスを取得するときに使用します。
- PPPoEオプションが有効になっているときは、サービスプロバイダから取得したPAP・CHAPの認証メカニズムを選択し、ユーザー名・パスワードを入力してください。

[キャンセル](#) [前](#) [次](#)

ステップ5: WAN設定

- ・ バックアップWANがない場合はこちらの設定は不要です
- ・ ”次”を選択します



ステップ6: WAN設定

- ・ デフォルト設定されているDHCPの設定を確認できます
- ・ "次"を選択します



ステップ7: WAN設定

- ・ ルータのファイアウォール機能を使用しない場合はこちらの設定は不要です
- ・ ”次”を選択します



※ファイアウォール設定はリンク先、設定ページのアプリケーション利用状況見える化ガイドをご参照下さい
cisco.com/jp/go/c800m

ステップ8: WAN設定

- ・ クイックセットアップウィザードで設定した情報が確認可能です
- ・ ”設定”を選択します



The screenshot shows the Cisco Configuration Professional Express Quick Setup Wizard. The title bar reads "Cisco Configuration Professional Express". The wizard progress bar at the top shows six steps: 基本 (Basic), プライマリWAN (Primary WAN), バックアップWAN (Backup WAN), LAN, セキュリティ (Security), and 確認&適用 (Confirm & Apply). The "基本" step is currently selected and highlighted in green.

クイックセットアップウィザード

要約

✓ 基本	✓ プライマリWAN	✗ バックアップWAN	✓ LAN	✗ セキュリティ
- ルータ名: pod1 - ドメインネー: roadshow.cisco.com - タイムゾーン: (GMT+09:00) Osaka, Sapporo, Tokyo - DNSサーバ: 自動	- WANインターフェイス: GigabitEthernet8 - Ipv4: 自動 - Ipv6: 設定されていない - NAT: 使用可能 - PPPoE: 使用可能	設定されていません	- LANインターフェース: Vlan 1 with switch ports GigabitEthernet - LANネットワーク: 10.10.10.0 - サブネットマスク: 255.255.255.128	設定されていません

CLIプレビュー

キャンセル

前 設定

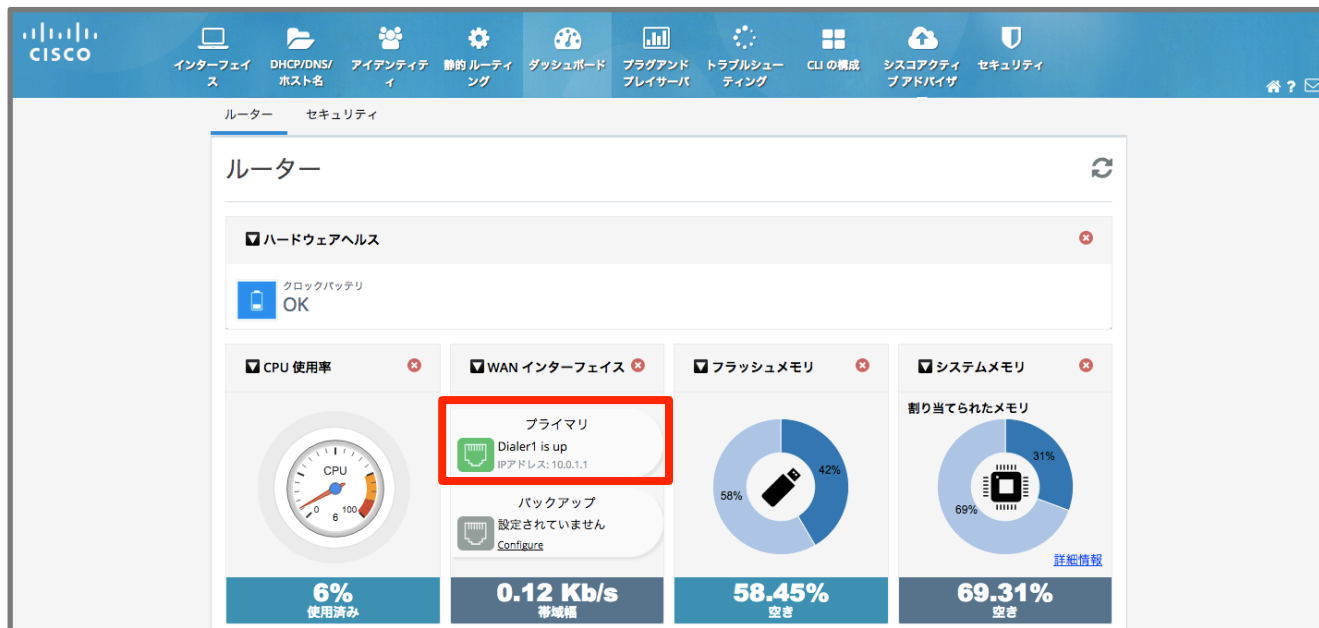
ステップ9: WAN設定

- 設定を適用するか聞かれるAlertがポップアップで出現するので、“はい”を選択します
- 設定投入後に設定完了の画面が出現します



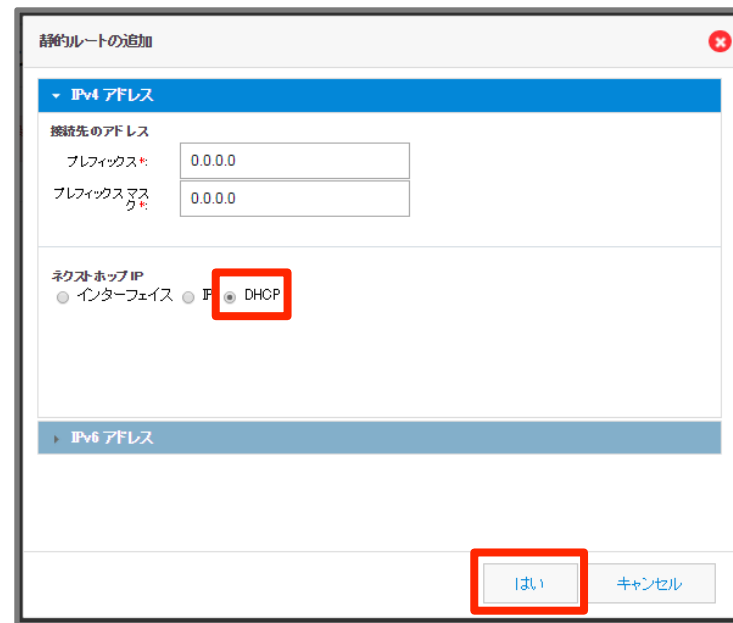
ステップ10: WAN設定

- ・ リダイレクトされたダッシュボードからWANインターフェイスの状態確認が可能です
- ・ IPアドレスが取得できていれば設定が完了し、インターネットアクセスが可能です



オプション: DHCP利用時の設定追加

- WAN設定でDHCPを選択した場合は以下の設定を行います
- 静的ルーティングのページに移行し、作成済みの静的ルーティングを選択し、“編集”を選択します
- ネクストホップIPの項目を”DHCP”に変更します
(プレフィックス/プレフィックスマスクは変更しません)
- “はい”を押し、設定を保存します



LAN設定

LAN設定-1

VLAN設定例

- ・この項目はVLAN設定のサンプルとなります
- ・今回はLANポートのうち、Gig0/4-7ポートの設定変更を行います
※初期状態では全てのLANポートがVLAN1(デフォルト)の設定となります



※CCP Express接続のため、管理PCを接続しているポートはVLAN1から変更しないようにします

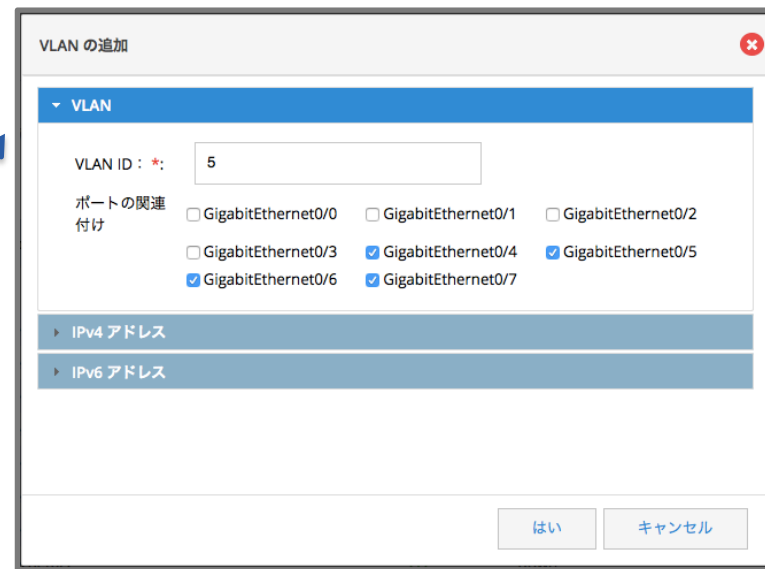
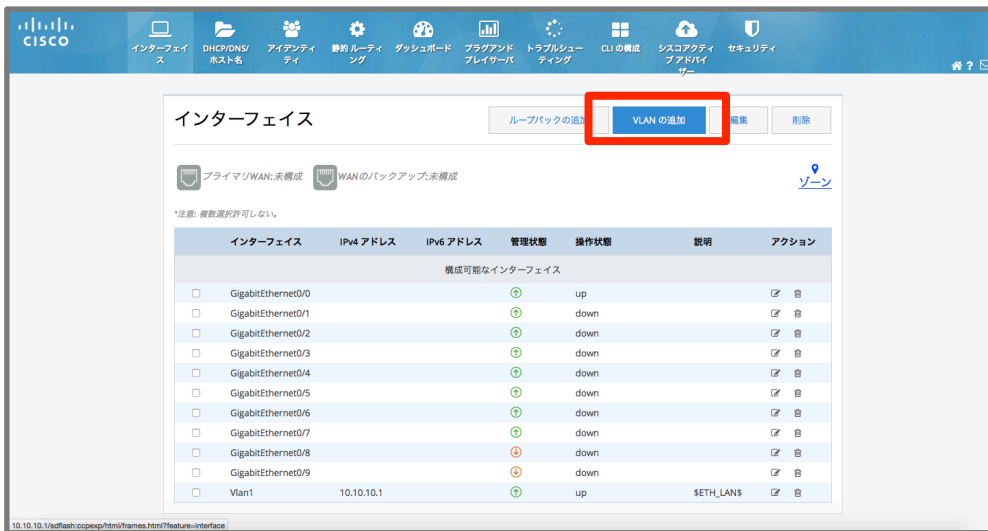
ステップ1: インターフェイス設定画面へのアクセス

- ・ トップ画面からインターフェイス設定画面へ移行します



ステップ2: VLANの追加

- VLANの追加を選択します



※設定済の10.10.10.1のアドレスを変更すると、CCP Expressから設定変更が不可となります

ステップ3: VLANの追加

- ここでは、以下の設定を行います
- VLAN5を作成し、Gig0/4-7をVLAN5のポートにします
- VLAN5の仮想アドレス: 192.168.1.254/24

※インターネットアクセスが必要な場合は、
”NATの有効化”にチェックをします

VLANの追加

VLAN

VLAN ID: *, 5

ポートの関連付け

☐ GigabitEthernet0/0 ☐ GigabitEthernet0/1 ☐ GigabitEthernet0/2

☐ GigabitEthernet0/3 ☒ GigabitEthernet0/4 ☒ GigabitEthernet0/5

☒ GigabitEthernet0/6 ☒ GigabitEthernet0/7

IPv4 アドレス

IPv6 アドレス

はい キャンセル

VLANの追加

VLAN

IPv4 アドレス

タイプ: 静的IPアドレス

静的IPアドレス: 192.168.1.254

サブネットマスク: 255.255.255.0

NATの有効化 ☒

IPv6 アドレス

はい キャンセル

ステップ4: VLAN設定の確認

- VLAN5が作成されている事を確認します

The screenshot shows the Cisco SD-WAN configuration interface. The top navigation bar includes icons for various settings: インターフェイス (Interface), DHCP/DNS/ホスト名 (DHCP/DNS/Host Name), アイデンティティ (Identity), 静的ルーティング (Static Routing), ダッシュボード (Dashboard), プラグアンドプレイサーバ (Plug and Play Server), トラブルシューティング (Troubleshooting), CLIの構成 (CLI Configuration), システムアクティブライブ (System Active Live), and セキュリティ (Security). The main content area is titled 'インターフェイス' (Interface) and includes buttons for 'ループバックの追加' (Add Loopback), 'VLANの追加' (Add VLAN), '編集' (Edit), and '削除' (Delete). Below the title, there are status indicators for 'プライマリWAN:未構成' (Primary WAN: Not Configured) and 'WANのバックアップ:未構成' (WAN Backup: Not Configured). A note states: '*注意: 複数選択許可しない。' (Note: Multiple selection is not allowed). A table lists the available interfaces and their configurations. The table has columns: インターフェイス (Interface), IPv4 アドレス (IPv4 Address), IPv6 アドレス (IPv6 Address), 管理状態 (Management Status), 操作状態 (Operational Status), 説明 (Description), and アクション (Action). The table is divided into two sections: '構成可能なインターフェイス' (Configurable Interfaces) and 'VLAN'. The 'VLAN' section shows the configuration for 'Vlan5' with an IPv4 address of '192.168.1.254' and an operational status of 'down'. The 'Vlan5' row is highlighted with a red box.

インターフェイス	IPv4 アドレス	IPv6 アドレス	管理状態	操作状態	説明	アクション
構成可能なインターフェイス						
☐ GigabitEthernet0/0			🟢	up		🔗 🗑️
☐ GigabitEthernet0/1			🟢	down		🔗 🗑️
☐ GigabitEthernet0/2			🟢	down		🔗 🗑️
☐ GigabitEthernet0/3			🟢	down		🔗 🗑️
☐ GigabitEthernet0/4			🟢	down		🔗 🗑️
☐ GigabitEthernet0/5			🟢	down		🔗 🗑️
☐ GigabitEthernet0/6			🟢	down		🔗 🗑️
☐ GigabitEthernet0/7			🟢	down		🔗 🗑️
☐ GigabitEthernet0/8			🔴	down		🔗 🗑️
☐ GigabitEthernet0/9			🔴	down		🔗 🗑️
☐ Vlan1	10.10.10.1		🟢	up	ETH1-LAN1	🔗 🗑️
☐ Vlan5	192.168.1.254		🟢	down		🔗 🗑️

LAN設定-2

DHCP設定例(オプション)

- ここでは、別のDHCPグループを作成します

※工場出荷状態では、10.10.10.0/25のアドレスがVLAN1で配布されるDHCPの設定がされています

ステップ1: DHCP設定画面へ移動します

- “DHCP/DNS/ホスト名”を選択します
- DHCPの項目で”追加”を選択します

The screenshot shows the Cisco configuration interface for DHCP/DNS/Host Name. The top navigation bar includes various icons, with 'DHCP/DNS/ホスト名' highlighted. The main content area is titled 'DHCP/DNS/ホスト名' and contains two sections: 'ホスト名/ドメイン名' and 'DNS'. The 'ホスト名/ドメイン名' section has input fields for 'ホスト名' (yourname) and 'ドメイン名' (yourdomain.com), with an '適用' (Apply) button. The 'DNS' section has input fields for 'プライマリ DNS' (10.70.172.10) and 'セカンダリ DNS' (2001:CDBA::3257), with an '適用' (Apply) button. Below these sections is the 'DHCP' section, which contains a table with columns: 'プール名', 'プールネットワーク', 'サブネットマスク', 'デフォルトルーター', and 'アクション'. The first row shows 'ccp_pool', '10.10.10.0', '255.255.255.128', '10.10.10.1', and '72 80'. The '追加' (Add) button is highlighted with a red box.

プール名	プールネットワーク	サブネットマスク	デフォルトルーター	アクション
ccp_pool	10.10.10.0	255.255.255.128	10.10.10.1	72 80

※CLIで設定変更を行わない場合、CCP Express接続のため、ccp_poolの設定変更はしないで下さい

ステップ2: DHCPの作成

- DHCPプールに必要な項目を記入し、“はい”を選択します

DHCP プールの追加

プール名 *:	worker
プールネットワーク *:	192.168.1.0
サブネットマスク:	255.255.255.0
デフォルトルート:	192.168.1.254
この DHCP プールにあるDNS値を含める:	☒
DNS プライマリアドレス:	8.8.8.8
DNS セカンダリアドレス:	例: 10.70.180.1

はい キャンセル

ステップ3: DHCP設定の確認

- DHCP欄に作成したDHCPプールが作成されていることを確認して下さい



The screenshot shows the Cisco DHCP/DNS/Hostnames configuration page. The top navigation bar includes links for Interface, DHCP/DNS/Hostnames, Identity, Static Routing, Dashboard, Plug and Play, Troubleshooting, CLI Configuration, Syslog, and Security. The main content area is titled "DHCP/DNS/ホスト名" and is divided into three sections: Hostnames/Domains, DNS, and DHCP. The Hostnames/Domains section has input fields for Hostname (yourname) and Domain Name (yourdomain.com), with an "適用" (Apply) button. The DNS section has input fields for Primary DNS (10.70.172.10) and Secondary DNS (2001:DBA::3257), with an "適用" (Apply) button. The DHCP section is currently empty, with "追加" (Add), "編集" (Edit), and "削除" (Delete) buttons. Below the DHCP section is a table showing the DHCP pools.

	プール名	プールネットワーク	サブネットマスク	デフォルトルーター	アクション
☐	ccp-pool	10.10.10.0	255.255.255.128	10.10.10.1	✎ 🗑
☐	worker	192.168.1.0	255.255.255.0	192.168.1.254	✎ 🗑

補足

- CCP Express 3.1を利用したポリシー制御の設定は、ZBFWを利用します
- ゾーンの設定に関しては、別紙のスタティックVPN設定か、DMVPN設定等をご参照下さい
- アクセスリストを利用したアクセス制御には、CLIによる設定が必要です



CISCO

TOMORROW starts here.